

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートもりやま（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日		～	R7年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・環境がよい(部屋数、部屋の広さ、活動に適した施設が周辺にある)	・部屋数が多いので、状況に応じて部屋の使い分けをしたり、クールダウンできる	・職員全員が状況に応じては難しいので、どの時はこの部屋を使用する等具体的に決め、MTGなどで共有していく
2	・午前中は児童が少ない	・職員数に余裕があるので、1対1などゆとりを持った支援ができる	・職員とばかり過ごすのではなく、他児との関わりを促すことで、今後地域の集団に入れるように繋げていく
3	・保護者さんやきょうだい児が交流できる場を設けている	・クリスマス会や夏祭り、お泊り会など毎年行う事で保護者さんにも定着してきた。保護者さん同士の情報収集・情報交流の場のためにも今後も継続していきたい	・次年度は、きょうだい児の交流や保護者さん同士の茶話会を開催できるように検討していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流	・活動の中で公園にはよく行っているが、そこでの地域の子ども達との交流はなかなかできていない ・児童館等地域の子どもと関わる機会が少ない	・イベントなどですでに関りのある方を夏祭りに招待することを検討する ・地域の方に放デイ、児発の活動内容を知ってもらう機会を作る ・活動の中で地域の児童館や公園に行き、地域の子ども達と関わる機会を作る
2	・各マニュアル等、事業所で行われていることが保護者さんに周知共有できていない	・事業所内だけでして終わっている ・保護者さんに周知することをあまり意識していない	・災害訓練など行った時はSNSで発信したり、口頭で保護者さんに伝える ・契約時や保護者面談時にマニュアルについてなど、今まで以上に細かく伝える
3	・保護者さんに対しペアレント・トレーニングなどが行えていない	・保護者さん同士の情報収集の場が少ない ・以前は告知して行っていたが、参加希望者がいなかった	・保護者さん同士の茶話会の中で、同じ悩みを共有できる環境づくり ・ペアレント・トレーニングについて資料で提示する ・実際に学習会の開催について検討する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		チャイルドサポートもりやま		公表日		令和 8年 1月 5日					
				利用児童数		10名		回収数		10名	
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8			2	・当日の配置数等がわからないため	・契約時に説明しているところをもう少し詳しく説明する。また職員が変更のタイミングで通信などでお知らせをする			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10								
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10								
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	4		現在機会としては設けていない為、どのようにしたら実施していけるかを考え検討する			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	3	・夏祭りなどきょうだいもとっても楽しみにしている	・夏祭りやクリスマス会などの保護者交流の機会を継続する			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	1							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5		1	4	・きょうだい交流がありがたい	・今後さらにきょうだい交流ができる機会を			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8		1	1	・いつも色々とお願いと引き受けくださって本当にありがとうございます	・今後もできる限り対応できるように質上げをしていきます			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	8			2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	10					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1	・説明があったかもしれないが、忘れ ている	・保護者面談の時に再度周知する ・訓練はしているが、アピールはできて いない。今後SNSなどで訓練の様子を伝 えていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	6	1	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8		1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		2	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				・沢山お友達がいて楽しんでいる	・今後も楽しんでいただけるように活動 内容や、過ごし時間を充実させていき ます
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・急な時に対応してもらって感謝しか ない	・今後もうできる限り対応できるように質 上げをしていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドサポートもりやま		R8年 1月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	・児の状況に応じて1, 2階で分けたりパーティションで空間を仕切っている ・動、静の活動と部屋を使い分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	・児の特性にもよるが、1対1で配置できる環境 ・現在は職員も増えゆとりのある配置である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	・視覚的にわかりやすい絵カードを提示したり、不要なおもちゃを隠したりとパーティションを使用している ・絵カードを活用し、見通しを持って行動できるように工夫している	・おもちゃが見えていると注意散漫になりやすい⇒活動と遊ぶ部屋を分けるか、仕切りを作るか検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・児童の利用時間外で毎日清掃を行っている。また、臨機応変に室温を調整したり、怪我につながらないように机等の配置を変えている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	・クールダウンやかんしゃく時の対応として個室を使用している ・複数部屋があるため状況に応じて部屋を使い分けている	・職員が色々な部屋で作業をしていて入りにくい⇒前もってどの部屋を使用するが職員間で告知していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	・朝のMTG時に共有や検討事項などをあげている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・年2回の保護者面談の際にご意向について確認をしている。また内容を職員に共有し支援に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・3か月に1度職員面談を行っている ・朝のMTG内で検討事項などから職員の意見を吸い上げ、業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2	・監査を通じて改善を図っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・毎週木曜日を勉強会と定め実施している ・専門の講師に外部から来てもらい勉強会を実施している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・重心児、重心児以外共に定め、ホームページで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	・保護者面談等で知り得たニーズを元に個別支援計画に反映している ・モニタリングの実施	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・モニタリングの時間を定め検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・目標の共有がなされ、それに沿った記録を書いている ・全職員に周知され評価して行えている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・日々の記録や職員間の共有を通して児童の変化を把握している	・フォーマルなアセスメントはできていない⇒できるように意識をあげていく、他の職員と一緒にやっていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・保護者さんのニーズを取り入れながら計画立案している	

× 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・児発の担当職員が立案している ・新しい活動を定期的に取り入れている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・レクリエーションの担当職員を中心に皆で意見を出し合って検討している ・色々な体験が出来るように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・個別学習と称して個別活動を行っている ・集団活動が難しい児童にも個別で関わりながら集団に入れるように支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	・活動の内容、サポートを要する児童については、毎朝のMTG時で共有、周知している。 ・担当職員で話し合い連携を取っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・個々でその日の振り返りを行い、全体では翌朝のMTGで振り返っている ・MTGノートの使用	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・毎日担当をつけて記録を行っている ・話し合いはしているが、改善につながっているのかはあまりわからない	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・関わる職員を中心に、半年に1回計画の見直し、立案を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	・基本的には管理者が参画しているが、フリープランが多く全員ではない	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	・利用児童の学校や園に参観に行き、共に連携して支援を行えるようにしている。また、会議後は全体に周知・共有している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・進級、就学前等には関係機関とケース会議を行い、支援の引き継ぎを行っている ・保護者さんの同意の上で外部との情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・相談員さんを中心に関係各所が参加する会議を開催してもらい、理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	5	・相談員さんと連携を図り、定期的に情報共有やモニタリングを行っている ・外部からの先生がきて、助言を頂いている	・外部から助言を頂いているが全職員ができていない⇒全員に行えるように調整、学習会等も行っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	6	・公園等で他児童と一緒に遊ぶことはあるが、積極的には行えていない ・地域の児童との関わりが少ないので今後取り入れていきたい	・他事業所との交流を続けることと、次年度は学童の児童との交流を検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・基本的には帰りの送迎時にお伝えしている ・児童の成長点や育てていきたい点をこまめに保護者さんに伝えている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5	・職員に向けては行っているが、保護者さんに向けてはできていない ・どのような事をしたいかわからない	・ペアレントトレーニングについて資料を提示する ・保護者さんの交流の場等で困りごとを把握し、共有する
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	2	・契約時に一通り説明をしている	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・作成後は保護者さんに説明、その際ご意向の確認を行っている ・定期的に面談を行い、困り事を聞いている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	・計画を提示しつつ説明を行っている ・同意を得てから職員にも情報が共有されている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・あまり件数はないが、必要時は助言や支援を行っている ・半年に1度の面談と、その都度情報を共有し何か相談があれば応じている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	2	・夏祭りやクリスマス会を毎年開催する中できょうだい同士の交流も図れている ・夏祭りやクリスマス会を行っているが、参加人数も限られているため集まりにくい	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・保護者さんからの相談、申し入れについてはMTGで共有され、迅速かつ柔軟に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	・普段の連絡はLINEで、活動内容や連絡事項等はチャイルド通信に載せている ・インスタを用いて日々行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・各職員、入社時に誓約書を記入して提出している ・事務所内に保管、外部から見えないように工夫している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・個々の様々なコミュニケーションの方法を保護者さんに教えてもらっている ・イラストやその児童の特徴に応じて支援を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7	・検討の段階であり今後開催していきたい ・イベント等で地域住民との関わりを増やしていきたい	・今関わりのある方を夏祭りなどに招待することを検討する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	・マニュアルはあり、職員への周知も出来ている。定期的な訓練もできている ・月に1度活動で行っているが保護者さんに伝わっているかはわからない	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	・児童も職員も訓練を行っている ・作成しその都度更新している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	・プロフィールに記載していただき、職員に共有・周知を行っている。また都度看護師から説明を受けたり、勉強会でも学ぶことができている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	・指示書に記載していただき、職員に共有・周知出来ている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	・定期的に研修や訓練が行われている ・月1回行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	・家族に周知はできていない、もしくはしているかわからない	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・用紙に記入し朝礼時に職員に共有、数カ月後に振り返りを行っている ・MTG時に共有、必要に応じて検討し、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	・年間で定められた研修を受けている ・定期的に研修を受けることで虐待防止の意識を高めている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	・契約時に一通り説明をしている ・職員間でもどの児童に記載しているか共有し身体拘束の意識を高めている	